

# 浸水対策

浸水の防除は下水道の大切な役割です。

大阪市では、浸水のない安全で快適な都市をめざして浸水対策を推進しています。

## 地形の特性と下水道の整備状況

大阪平野は、淀川などの土砂の堆積によってできた沖積平野であり、上町台地等の一部を除いて大阪市の約90%がポンプ排水に頼らなければならない雨に弱い地形となっています。大阪市の下水道は、1980年代にほぼ100%整備されましたが、市域の都市化により、雨が浸透する地面が舗装化され、雨の大半は下水道管へ一時に集められるようになったため、浸水のリスクが高まり、下水道の役割はさらに重要となっています。

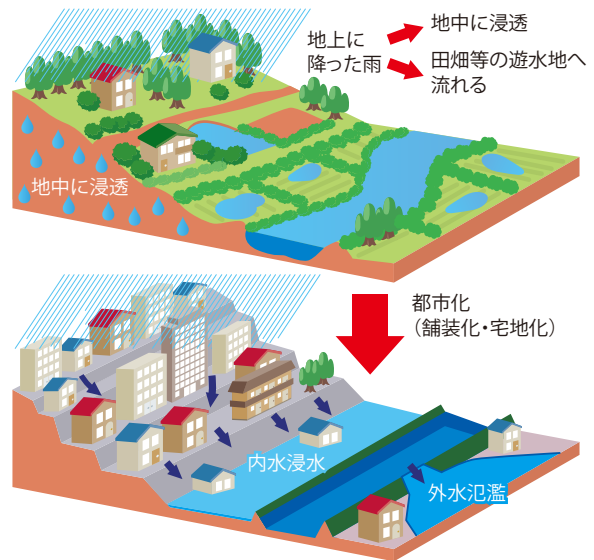
大阪市の浸水対策は、概ね10年に1回の大雨(1時間あたり60mmの降雨)を対象に整備を進めてきました。雨水対策整備率\*は令和7年3月末時点で約82.4%と全国平均を上回っており、浸水被害は減少傾向にあります。しかし集中豪雨時には、今なお浸水が発生しています。

一方で、気候変動の影響により、近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化しており、今後の降水量の増加が見込まれています。これらのことを踏まえ、従来の浸水対策計画の残事業を含めた見直しを行い、1時間あたり66mmの降雨に対して、浸水被害を※雨水対策整備率…下水道整備ができた区域の比率

解消するための主要な下水道幹線の建設や、ポンプ施設の新増設などの対策を実施します。

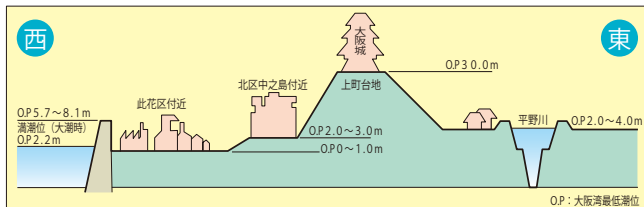
また、これらの大規模な雨水排水施設の整備には長い年月を要することから、近年の集中豪雨による浸水被害に対して比較的短期間に整備が可能である、ますの増設や道路を横断する側溝の設置、枝線管きよのネットワーク化など、局地的な対策も進めてきました。今後も地域特性に応じた浸水対策を進めていきます。

### ■市域の都市化



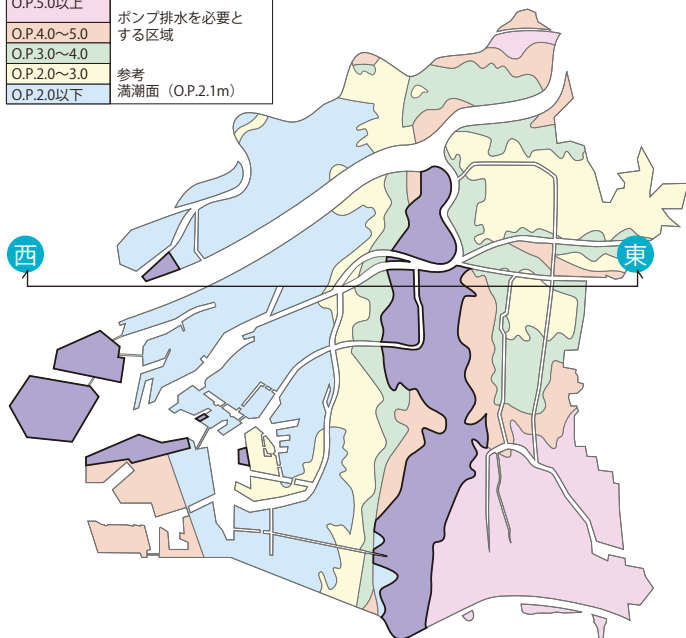
内水浸水:大雨などの影響で、下水道・側溝・排水路などが雨を処理しきれず水はけが悪化し、土地・建物・道路などが水浸しになること。  
外水氾濫:川の水が堤防を越えて溢れる場合、または破堤した場合に起こる洪水。

### ■大阪市の地盤高図



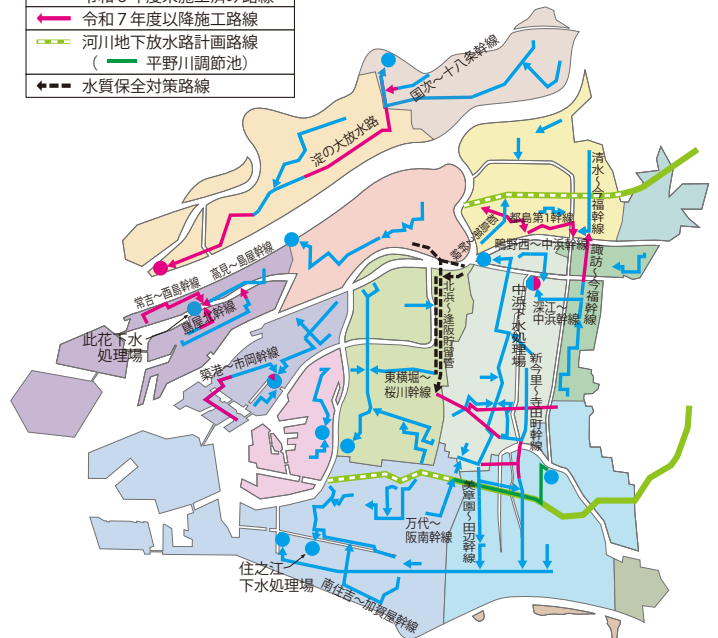
### ■大阪市の地形図

凡例	区別
	自然排水可能区域
O.P.5.0以上	ポンプ排水を必要とする区域
O.P.4.0~5.0	
O.P.3.0~4.0	
O.P.2.0~3.0	参考
O.P.2.0以下	満潮面 (O.P.2.1m)



### ■主要な浸水対策事業施工位置図

—	令和6年度末施工済み路線
—	令和7年度以降施工路線
—	河川地下放水路計画路線 (平野川調節池)
—	水質保全対策路線



## ハード対策：下水道施設の新設・増設など

### ■ 淀の大放水路

淀の大放水路は、大野処理区と十八条処理区の二つの処理区にまたがる最大内径7.5m、総延長22.5kmの下水道幹線であり、淀川以北（西淀川区・淀川区・東淀川区）の抜本的な浸水対策として、平成3年度から建設が進められています。

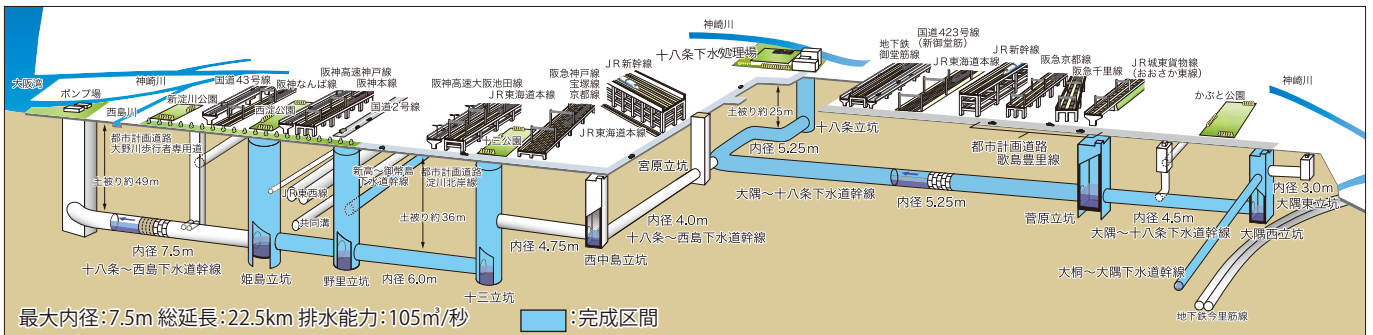
なお、全体計画の完成までには長期間を必要とすることから、工事の完成した区間から暫定的に雨水を一時貯留し、浸水の緩和を図っています。

- ・平成9年度 約5万 $\text{m}^3$  一時貯留開始
  - ・平成18年度 約9.5万 $\text{m}^3$  一時貯留開始
  - ・令和元年度 約1.5万 $\text{m}^3$  一時貯留開始
  - ・令和6年度 約7.5万 $\text{m}^3$  一時貯留開始
- 計 約23.5万 $\text{m}^3$



淀の大放水路

### ■ 淀の大放水路



## ソフト対策：自助・共助を啓発する取り組み

### 水害ハザードマップ

想定以上の大雨により浸水が予想される区域と避難時の心得を示した「水害ハザードマップ」を作成しています。

浸水による被害を軽減するためには、自分の住んでいる場所がどの程度浸水する恐れがあるのかを把握し、いざという時にとるべき行動をあらかじめ考えておくなど、日頃からの備えが重要です。

これらを役立てていただき、もしもの時の役割や連絡方法などを今一度よく話し合っておきましょう。

なお、「水害ハザードマップ」は各区役所または大阪市危機管理室で配布しているほか、大阪市ホームページからもご覧いただけます。

[大阪市 ハザードマップ](#)

### 土のうの貸し出し(管路管理センターのお問合せ先は裏表紙)

大雨時に浸水被害を未然に防止するため、要望に応じてお近くの管路管理センターから土のうの貸し出しを行っています。



[大阪市 管路管理センター](#)

### 降雨情報の提供

大阪市ホームページにて、浸水被害の軽減を目的に降雨情報を提供しています。

[大阪市降雨情報](#)

### 雨水貯留施設の普及促進

大阪市では、市街化に伴う浸水（都市型浸水）から市民の安心・安全を守るため、一定規模以上の土地利用や街づくりにおいて、雨水貯留施設（雨水流出抑制施設）の設置等を指導しています。また、各戸対応として雨水貯留タンクの普及促進助成制度に取り組んでいます。



[大阪市 雨水流出抑制施設](#)

[大阪市 雨水貯留タンク](#)